

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島郡隠岐町24
電話 2-9772

知夫村の教育活動

知夫村教育委員会が取り組んでいる教育活動の様子を、派遣指導主事と派遣社会教育主事が紹介します。

【知夫ならではの

学校教育の推進】

小中一貫校の知夫小中学校を開校して、今年度が三年目となりました。小学部と中学部の先生が連携し、校内研究をはじめとする教育活動に取り組んでいます。それぞれの校種のよさを理解して、子供の九年間を全員で育ていく一貫教育の体制が整ってきました。

また、保育所と学校が子供の状況や学びを情報共有し、子供一人一人と丁寧に向き合う早期からの特別支援教育体制も整備してきました。

村の教育施策の「知夫里島学び舎構想」に基づき、村全体を

学び舎とする地域社会とのつながりの中で、絆を育み、豊かさたくましさを身に付けていく、知夫ならではの学校教育を進めています。

【学力育成の取組】

教育委員会と学校が連携・協力し、学力と学習状況の分析に基づく学力育成の取組を進めています。

学校の授業公開も日常的に行われ、先生方と派遣指導主事が、よい授業について共に考えながら、子供主体の「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組んでいます。

【中学生の島留学の取組】

今年度から始まった島留学制度により、五名の島留学生が知夫小中学校に加わりました。新しい出会いによって、多様な考えにふれ価値観を広げることは、知夫の全ての子供たちの成長につながっていくと期待しています。

知夫村が目指す「豊かな心を持ち、創造性に富み、たくましく生きる知夫の子」の育成のために、今後も知夫ならではの教育活動を推進していきたいと考えています。

【九年間を通した特色ある宿泊体験活動】

知夫村の宿泊体験学習のキーワードは「自立・感謝・協力」です。それぞれの宿泊体験活動で段階的・系統的に力がついていくよう体験活動に工夫をしています。

『ステージ①

はじめてのキャンプⅦ』七月十五日(土)から十六日(日)にかけて、小学校一～四年生を対象に、一泊二日のキャンプを開催しました。

今年度の新しい取り組みとして、「0円食堂」を地域の方の協力のもと実施しました。子供たちは四年生をリーダーとして、地域の方のお宅を訪問し、草むしりや野菜の収穫、よもぎ餅作りなどのお手伝いをして交流しました。そのお駄賃代わりに、夕飯のカレーの材料を貰って帰

る姿は足取りも軽く、地域の方に見守られている安心感を覚えてたようです。

『ステージ②

邑南町で泊まろう』

一月に小学校五・六年生を対象にした、スキー体験・民泊体験を行う予定です。

『ステージ③

ふるまい向上合宿』

八月二十八日(月)から九月二日(土)にかけて、中学校一～三年生を対象に、五泊六日の合宿を開催しました。



今年度は始業式と同時のスタートとなり、夏休みの生活から学校生活に切り替えていくことができました。子供たちは、買出し・炊事・洗濯といった家事をすることで、「自立」に向けた

一歩を踏み出すきっかけとなりました。中でも、職場体験を兼ねて一週間の生活をしていた二年生にとっては、仕事をしながら自分で家事をしていくことで、将来の見通しを持つことができました。

公民館活動の推進

地域づくりに主体的に参画しようとする人づくりを進めるために、積極的に県委託事業を活用している公民館活動を紹介しています。

○海士中央公民館

【わがこの磨けば光る

地域の宝】

(目的)

地域資源を介して、歴史文化の継承、世代間交流、地域内交流を実施することで、住民同士のつながりを広げ、地域づくりの担い手育成を図ります。

(取組内容)

地域資源を活用して「ふるさと再発見ツアー」「民話の語り部講座」「和歌講座」「古文書講座」「やきもの制作」などの講座を開催し、地元住民・若者・Ｉタ

ーの融合を図り、地域を支える人づくりにつなげています。

○都万公民館

【ふるさと再発見

『都万の里』

(目的)

地域と学校を公民館がつなぎ、地域の活力向上と地域課題解決に向けた取り組みの一步として、この活動を通して地域を守るための人材育成、次世代を担う人材育成を図ります。

(取組内容)

★海や自然に親しむ

「素潜り漁体験」「地元食材の調理」「ジオ学習」「定置網漁」「生活体験」を通して、地域の方と一緒に小学生がふるさとについて学んでいます。

★交流活動で地元へ元気を

「ゲートボール交流」「素潜り漁体験」「サザエ刺し網漁」「地元食材の調理」「シーカヤックツリーング」「ジオ学習」を通して、地域の方と中学生と一緒に交流しています。

その他の公民館でも、地域づくりに向けた人づくりを見据えた活動に意欲的に取り組んでいます。

(文責 林)